

令和6年度ミニ企画展

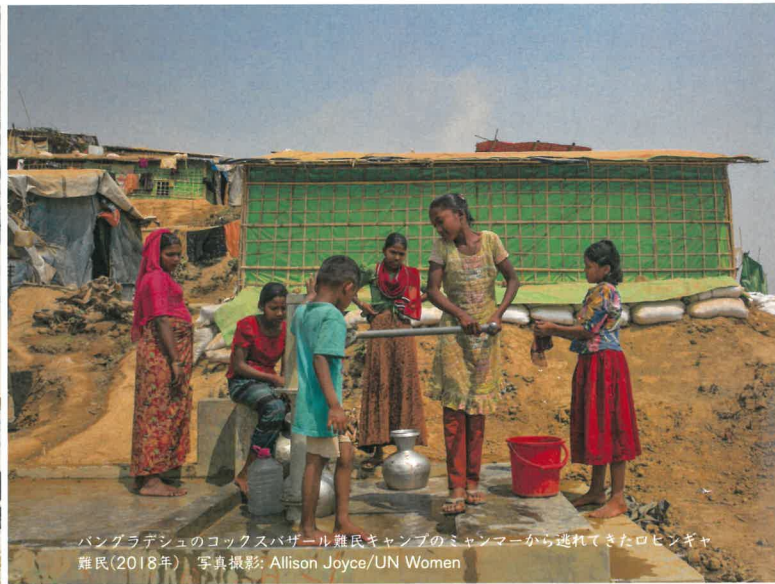


戦争から逃れる人々

難民・避難民パネル展



ヨルダンのザルダ・パザール難民キャンプの家族 (2014年)
写真撮影: Dominique Chavez/World Bank



バングラデシュのコックスバザール難民キャンプのミャンマーから逃れてきたロヒンギャ
難民 (2018年) 写真撮影: Allison Joyce/UN Women



シリア北部のエルビル難民キャンプのシリア難民家族 (2014年)
写真撮影: IOM



ケニアのサミット難民キャンプの家族 (2011年)
写真撮影: Marcel Crozet/ILD

開催期間: 令和6年6月15日(土)～7月15日(月)

期間中休館日: 6月17・18・24日、7月2・8日

会場: 川崎市平和館 1階 平和の広場

主催: 川崎市平和館



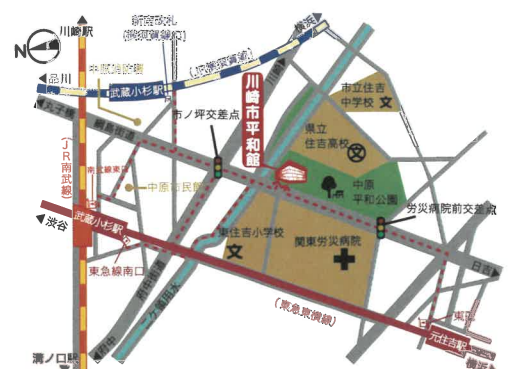
後援: JAPAN FOR UNHCR 難民を守る、難民を支える、
国連UNHCR協会

【お問い合わせ先】 川崎市平和館 川崎市中原区木月住吉町33-1

Tel: 044-433-0171 FAX: 044-433-0232

～アクセス～

JR線・東急線「武蔵小杉駅」、東急線「元住吉駅」から 徒歩約10分



戦争から逃れる人々：難民・避難民パネル展について

2021年の軍によるクーデター以来、終わる兆しのないミャンマーの内戦、2022年2月のロシアによるウクライナへの侵攻や、昨年10月にハマスの攻撃に端を発したガザにおける戦闘など、武力による非平和が止まらない今、直接的な戦争当事国ではない地域と地域の人々が、どのように戦争に向き合い、自分(たち)ごととして関われば、戦争という究極の非平和を緩和できるでしょうか。そんな問いかけの意味を込めて、川崎市平和館では令和6年度の企画展・ミニ企画展の共通テーマを「戦争再考」としています。

戦争は常に、戦闘に参加していない人々の暮らしを、住まいを、命を奪い、大量の戦争から逃れる人々を生み出します。「戦争再考」第1回目となるミニ企画展では、戦争から逃れる人々＝難民・避難民に焦点を当てたパネル展を開催します。

日本は、長年にわたり、国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)への主要な資金拠出国であるのと同時に、あまり難民を受け入れてこなかった国でもあります。

社会で共に生きる一員としての難民・避難民の尊厳ある生を考え、そして、難民・避難民発生の根っこにある戦争の根絶を構想する一助に、このミニ企画展がなれば幸いです。

ミニ企画展関連イベント

難民映画祭
REFUGEE FILM FESTIVAL
PARTNERS

WITFILM PRESENTS IN CO-PRODUCTION WITH KRO-NCRV
IN COLLABORATION WITH PROSPEKTOR

SHADOW GAME

A FILM BY
EEFJE BLANKEVOORT
AND ELS VAN DRIEL

シャドー ゲーム

～生死をかけた挑戦～

A JOURNEY THROUGH THE DARK SIDE OF EUROPE

上映日: 6月29日(土)

上映開始: 14時～(90分)

会場: 川崎市平和館 1階平和の広場

後援: 国連UNHCR協会

要申込(先着50名様): お申し込みは右QRコード、またはお電話で

DIRECTED BY EEFJE BLANKEVOORT AND ELS VAN DRIEL
PRODUCED BY MARK GLYNNE, TOM BUNEN, RUI REIS MAIA
EDITED BY JOHN THORBERG
COSTUME DESIGNER IRIS LAMMERTSMA
COSTUME STYLIST BODEWIJN KOOLE
COSTUME DESIGNER FEMKE DE WILD
COSTUME STYLIST NAZIMA MINTJES
COSTUME STYLIST JELLE PETER DE RUITER
COSTUME STYLIST YOLANDE VAN DER BLIJ

WITFILM KRO-NCRV Prospektor NL FILM FONDS fonds COBO UNHCR JAVA FILMS



監督: エーフィエ・ブランケフォールト、エルス・ファン・ドリール、撮影地: セルビア、ギリシャ、ボスニア・ヘルツェゴヴィナ、クロアチア、マケドニア、製作国: オランダ

2021年 オランダ映画祭 最優秀長編ドキュメンタリー賞受賞、2021年 Prix Europa映画祭(ドイツ) 年間最優秀ヨーロッパテレビドキュメンタリー賞受賞、2021年 国際映画祭と人権フォーラム、FIFDH(スイス) グランジュネーブ賞、青少年審査員賞受賞、2021年 Movies That Matter映画祭(オランダ) オフィシャルセレクション、2021年 ミュンヘン国際ドキュメンタリー映画祭(DOK.fest) SOS-Kinderdorfer weltweit賞ノミネート

弾圧や内戦から逃れ、「西」を目指す若者たち。南東欧に潜伏しながら、西欧を目指し、数千キロを徒歩で歩き、やっとたどり着いた国境でも電気柵や国境警備に阻まれる彼らは、密入国をゲームと呼び、失敗しても何度もトライする。彼らの過酷な「ゲーム」に密着した、2021年公開のドキュメンタリー映画。